

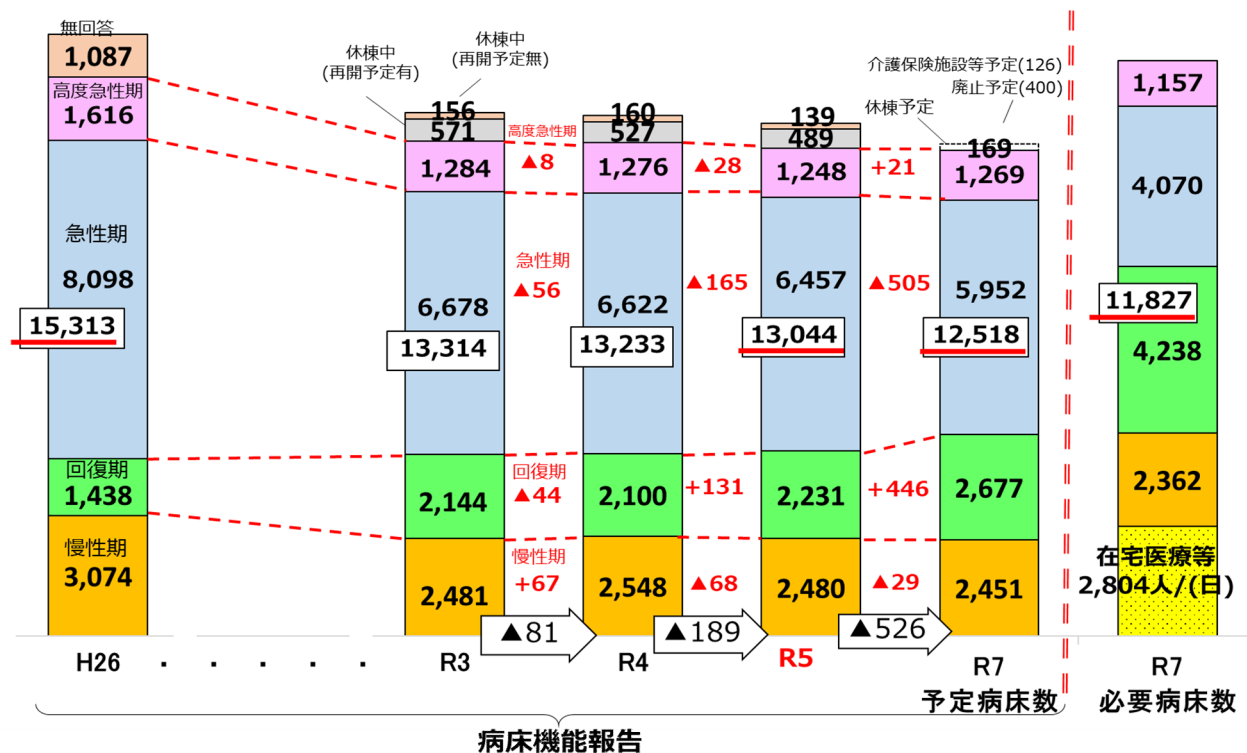
令和5年度 病床機能報告（病床の機能分化・連携の状況）

～ 県の意見 ～

県全体の令和5年度病床機能報告の総病床数は、13,044床となっており、前年比では189床減床しているものの、地域医療構想で定める令和7年の必要病床数11,827床を1,217床上回る状況です。

医療機能別では、急性期機能病床が必要病床数を2,387床（R5急6,457床－必4,070床）上回り、回復期機能病床が必要病床数を2,007床（R5回2,231床－必4,238床）下回る状況です。

県としては、今後、急性期機能病床から地域で不足する回復期機能病床への転換をさらに進めていくことが必要と考えています。



	H26 病床機能 報告	R3 病床機能 報告	R4 病床機能 報告	R5 病床機能 報告①	R7 必要病床数 ②	②－①
高度急性期	1,616	1,284	1,276	1,248	1,157	▲91
急性期	8,098	6,678	6,622	6,457	4,070	▲2,387
回復期	1,438	2,144	2,100	2,231	4,238	2,007
慢性期	3,074	2,481	2,548	2,480	2,362	▲118
休棟中 (再開予定有)		571	527	489		▲489
休棟中 (再開予定無)		156	160	139		▲139
無回答	1,087	0	0	0		0
合計	15,313	13,314	13,233	13,044	11,827	▲1,217

※平成30年度病床機能報告より、これまで対象に含まれていなかった地域医療構想策定当初に休床していた有床診療所も報告対象となっている。
 ※平成30年度以降の報告では「休棟中等」の選択肢がなくなり、「休棟中(今後再開する予定)」と「休棟中(今後廃止する予定)」の項目が新たに設けられている。